

ふるさとは今

おおもと

大元神社の巨木【温泉津町井田】



温泉津町、井尻地区の大元神社のカツラは、大木で珍しく大田市指定の「天然記念物」となっています。

24本の幹からなり、株周り18メートルで16人が手をつないで届く大きさです。

初夏（5月連休の頃）の芽吹きของときは美しく、葉はハート形をし、芳香を放ち、秋の落葉もこうばしい甘い香りがするというこゝです。

地区の古老から、昔、乳飲み子を持つ母親はこのカツラの木のそばの清水で白米のとぎ汁を作り、それを黙って振り返らずに持ち帰ると乳が出るという習慣があったと聞きました。ミルクのない時代、祈ることは生き残ることだったのでしょ。昔から何か願い事や困ったことがあればこの大元神社で手をあわせる。そこにいるだけで、不思議と力が湧く、そんな大元神社は温泉津のパワースポットと言えるのではないでしょか。



▲昨年5月井尻地区で行なわれた第2回「ふれあいウォーキング」の様子

＝大元神社への行き方（大田方面から江津方面）＝

国道9号沿いの「江津丸善石油温泉津給油所」を左折、県道温泉津川本線を道なりに約12km進み、右手の殿村集会所を右折（高野寺方面）。150m先の看板を左折し、行き止まりの井戸さん宅から200mほど山の中へ入る。詳しくは、井田まちづくりセンター ☎0855-66-0711

表紙 あの時～大田市成人式(昭和43年)～

表紙の写真は昭和43年1月5日に行われた大田市成人式の写真です。この年は戦後のベビーブームの人たちが成人を迎えました。該当者は、昭和22年1月17日から23年1月16日までに生まれた1,467人(男747人、女720人)で、うち約600人が式に出席。新成人の皆さんには、紅白のまんじゅうと記念品として男性にはホームセット、女性には鏡が贈られました。



現在

左の写真は1月4日に行われた今年の成人式です。昔に比べると新成人は随分と少なくなっています。また、誰もがケイタイやデジカメで晴れ姿を手軽に記念撮影するという昔には想像すらできなかった光景が繰り広げられています。今年の新成人の皆さんには、仁摩サンドミュージアムが開館して20年で同い年ということにちなみ、“かけがえのない時”を刻んで欲しいという願いから記念品として砂時計が贈られました。

成人の該当者数 (人)

	昭和43年 (1968年)	平成23年 (2011年)
旧大田市	1,467	351
温泉津町	※351	40
仁摩町	284	46

※昭和44年のデータ

この情報誌は定住促進を目的に発行しています。

発行 / 大田市役所総務部まちづくり推進課 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-5885

〒694-0064 島根県大田市大田町大田口1111番地 E-mail: o-matidukuri@iwamigin.jp http://www.city.ohda.lg.jp/
“おおだ”の定住サイト「どがどが」 http://www.teiju-ohda.jp/

どがどが 検索